

# 患者サポートセンターだより

Regional alliances and support

(旧 地域連携・がん相談支援センターだより)

2017

58号



「噴火湾の夕陽」 撮影者：放射線科部長 永倉久泰

## 目次

1. 豊平区の在宅医療後方支援施設と近隣在宅医との懇談会
2. 睡眠時無呼吸症候群の地域連携
3. 連携医療機関のご紹介「れんげいの輪」
5. 患者サポートセンターの紹介
7. KKR札幌医療センターの理念・基本方針

# 豊平区の在宅医療後方支援施設と 近隣在宅医との懇談会

病院長 磯部 宏

8月21日に当院会議室において「在宅医療後方支援施設と近隣在宅医の懇談会」を開催いたしました。この懇談会の発足経緯ですが、2016年2月に札幌市医師会白石区、豊平区、南区3支部合同で、「在宅医療における後方支援医療機関の現状と課題について」の研修会を開催した際に、在宅医療に携わる医師と後方支援を担う病院の双方から、ネットワーク構築と連携強化の要望が出されたことに始まります。そこで、顔の見える関係づくりをめざし、まずは白石区内の5つの後方支援病院と近隣の在宅医との間で、病院ごとの懇談会が開催されました。白石区内の5病院が終了したのを受け、豊平区の在宅医療後方支援施設として当院が豊平区のトップバッターとして懇談会を開催いたしました。

懇談会には豊平区・白石区・南区・中央区東の札幌市在宅医療協議会会員の先生方にお集まりいただきました。当院からは管理職の他、各診療科部長がほぼ全員、また地域連携室をはじめとする患者サポートセン

ター職員、各病棟師長等が参加いたしました。当院の紹介や各診療科の実績・得意とするところをお話しさせていただいた後、在宅医療に携わる先生方からのご意見やご要望をいただきました。急性期患者の受け入れや複数の診療科にまたがる高齢者の受け入れ等で感謝の言葉もいただきましたが、依頼患者の相談電話を医師につながるまで時間を要したり、返信が想定以上に遅れたり、正当な理由なく受け入れ拒否されたりと、耳の痛い話しも多数いただきました。

地域医療の一端を担う当院としては、また地域医療支援病院の指定を受けている当院としては、在宅医療に携わる先生方をはじめ、診療所の先生方としっかりした連携を組まねばならないと痛感しております。今回の懇談会がお互いの顔の見える関係づくりに役立ったことを期待しますが、さらに、地域に信頼される病院の立場を自覚する病院文化を育むことが院長の重要な責務であると感じた懇談会でありました。





## 睡眠時無呼吸症候群の地域連携

KKR 札幌医療センター 齋藤 拓志  
呼吸器内科部長

当院では 2004 年 1 月に「札幌いびきネットワーク」を開設しました。以降、地域連携室が中核になって、睡眠時無呼吸症候群（SAS）診療の地域連携を推進しています。

連携医療機関で SAS を疑った場合、地域連携室に連絡していただければ（特殊な例外を除き）外来受診無しで、連携室と患者さんとの電話相談により検査入院日を決定できます。（地域連携室を通さず直接外来受診すると、患者さんに外来待ち時間が無駄に生じますので、患者さんの利便のためにも連携室にご一報いただくと助かります）。当院検査センターでの検査入院は、夕方 6 時入院、翌朝 7 時退院です。検査の結果 CPAP 治療が必要であれば外来にて導入します。

CPAP 使用状況が安定したら、ご紹介いただいた連携医療機関に逆紹介して、その後の指導管理料の算定は連携医療機関でしていただくことができます。指導管理の内容は当科で用意する簡単な問診チェックリストを口頭でご本人に確認するだけで良く、チェックリストに引っかかる項目があれば当院地域連携室にご連絡いただくだけで、当科 SAS 外来を予約して当方ですべて対応を行います。したがって事実上 SAS に関する専門知識は不要で、ご迷惑をおかけすることはほとんど無いと考えております。

なお、治療適応のある SAS があるかどうかは検査入院をしないとわかりません。問診や簡易型検査で否定する方法はありませんので、「もし違ったらどうしよう」などと考える必要は全くありません。「日中の眠気」「いびき」「家族からの無呼吸の指摘」等がありましたら、遠慮なく地域連携室にご連絡ください。

今後とも地域の SAS 診療に貢献していくことを目指しております。SAS の可能性がある患者さんがいらっしゃいましたら、地域連携室にご一報いただければ幸いです。

なお、患者用パンフレットを同封いたしました。追加が必要でしたら当院地域連携室にご連絡いただければ用意いたします。

◆別紙にて「当院 SAS 病診連携（札幌いびきネットワーク）の流れ」について添付させていただきました。ご参照願います。



# ごう内科 在宅クリニック

中 嶋 豪 先生

住 所 060-0034  
札幌市中央区北4条東1丁目  
3-1-2905  
T E L 011-802-7823  
F A X 011-802-7824



当院と関連する訪問看護ステーション、共同利用保育園のご紹介をさせていただきます。

当院は、札幌では比較的早い時期の平成19年から在宅医療を行っている診療所です。元々は院長である中嶋が、当時はまだ少なかった「緩和ケア病棟」といういわゆる癌末期の患者さんだけが入院されるホスピス病棟で働いていた時、病院ではなく自宅で最期を過ごしたい患者様のお手伝いをしようと思ひ、開院することを決めました。札幌市内全方向

に足を運べるように札幌駅近隣の国道近くにクリニックを構えています。

今年からは期間限定ですが副院長の松田諭が、栄町ファミリークリニックから当院へいらして頂き、医師2名体制となっています。

この10年間でも在宅医療の役割と環境は変化し、老老介護をされている患者様や独居の方、人生のターミナルケアなど多様性を求められるようになりました。患者様それぞれの生活に沿うことを一番大切にしており、また訪問看護ステーションとケアプランセンターを併設し、患者様のご要望に合うサービスを提供しています。

ごう在宅訪問看護ステーションは北4条東2丁目に居を構え、所長の本間を含めて看護師5名、セラピスト1名、ケアマネージャー1名で中央区、豊平区を中心に走り回っています。時に泣き、時に笑い、患者様に寄り添う看護を行っています。当院と訪問看護ステーションの特徴は、24時間365日対応を続けていることです。医師、看護師、セラピスト、ケアマネージャー、事務スタッフ全員の役割分担とチームワークの賜物だと思っています。

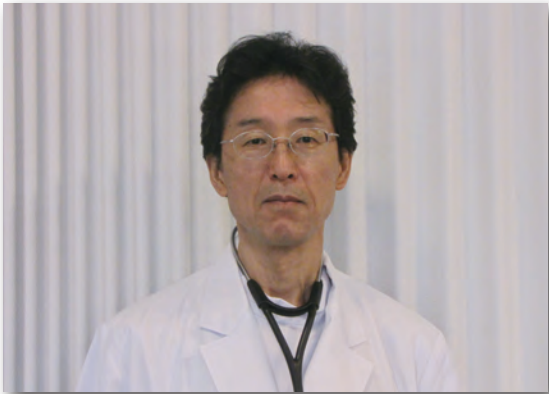
当院が目標としていることは、スタッフ全員が活躍できる器として長く診療を続けていくことです。そのためには女性が働きやすい環境を整えることが大切だと感じ、今年7月に医療機関で働くお母様方が安心して利用できる保育所を設置しました。園長の西垣がリーダーシップを存分に発揮し、栄養士さんがルーから作る手作りのカレーごはんや離乳食を提供し、看護師さんが専任して軽微な体調不良に対応する保育園です。共働きのご夫婦には、認可園よりも手頃な保育料でお預かりすることができます。9月から KKR 札幌医療センターの職員様にも利用して頂いています。

中嶋一人では到底できないことが、スタッフの協力とチームワークで実現できていることに日々感謝しながら診療を行っています。

いつでも患者様とご家族様が KKR 札幌医療センター様から退院されて、ご自宅での生活ができるように、これからも地域連携の在宅側の役割として努力して参ります。

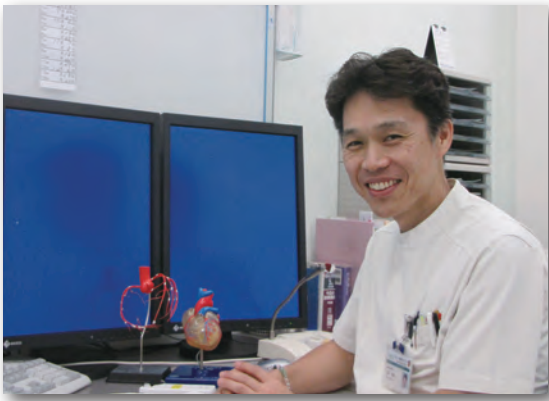


## 患者サポートセンターの紹介



センター長（代謝内分泌科部長代行）  
**本多 敏朗**

連携医の皆様にはいつも大変お世話になっております。皆様のお役に立てるよう努めていきたいと思っておりますので、どうぞ宜しくお願いします。



副センター長（循環器内科部長）  
**白井 真也**

患者さんだけでなく、先生方のサポートにもなればと思っております。



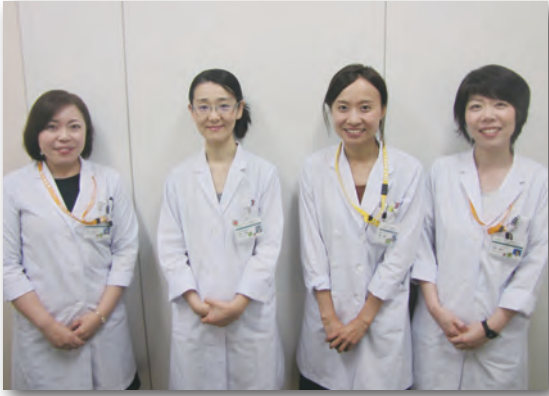
がん相談  
担当者：**がん看護専門看護師**

当院は、地域がん診療連携拠点病院であり、地域住民の方からのがん相談を受けております。また、電話相談だけではなく、がん看護専門看護師による『がん看護外来』も行っております。

患者サポートセンター  
担当者：**看護師、事務員**

いくつかのクリティカルパス入院の患者さんへ入院説明、問診を行っています。入院前の不安を解消し、安心して入院生活がおくれるようサポートさせていただきます。





## 医療社会事業相談室

### 担当者：医療ソーシャルワーカー

病気に関しておこる様々な心配事について、患者さんやご家族などのお話を伺い、一緒に考え、患者さんが少しでもその人らしい生活が送れるように、院内外の多職種と連携してご支援しています。

認定がん相談支援センターとして、院外のがん患者さんや関係機関のご相談に対応させていただいています。



## 在宅看護・退院支援室

### 担当者：看護師

「家に帰りたけれど不安だ」といった在宅療養に関する様々な不安や疑問に対応しております。



## 患者相談窓口

### 担当者：看護師

こんな症状は何科を受診したらいいのか分からないという相談から、ご本人やご家族の様々な相談に対応しております。

## 地域連携室

### 担当者：看護師、事務員

地域の医療機関と連携し、患者さんの受診、検査、入院の調整を行います。

セカンドオピニオンに関する相談、予約を行います。

## KKR 札幌医療センター 理念

「病院は人」のところで、活力ある病院、選ばれる病院を創ります  
生命の尊厳を保ち、健康の回復につくします  
温かな配慮で安寧（あんねい）につくします

## 基本方針

1. “生活の質”向上に重きをおく医療を心がけます
2. 安全を確保し、時代を先取りした医療を推進します
3. 患者さんの声に耳を傾け、分かりやすく説明します
4. 医療の情報を進んで開示します
5. 地域に信頼される医療を目指します



## KKR 札幌医療センター

〒062-0931  
札幌市豊平区平岸1条6丁目3-40  
TEL 011-822-1811(代)

## 患者サポートセンター

地域連携室 TEL 0120-552-303  
FAX 011-832-9624  
連携いただいている先生方よりお受けしております。

医療社会事業相談室 TEL 011-832-3260  
がん・緩和ケア相談を含む、医療施設・患者・家族よりお受けしております。